

コスタリカ SHB ガンボア農園 ブラックハニー

基本情報

農園名 : ガンボア農園
農園主 : マルティン・グティエレス(Martin Gutierrez)
生産地域 : タラス地区 サンタ マリア デ ドータ
標高 : 1,850m
栽培品種 : カトゥーラ
商品規格 : SHB EP
精選方法 : BLACK HONEY(PULPED NATURAL)
(100% ミューシレージを残して乾燥)



特別精選“ブラックハニー“

ミューシレージ(種を覆う薄い殻(=パーチメント)のまわりに付いている粘液質)を取らずに100%残した状態で乾燥させたパルプドナチュラルで仕上げる方法のことを言います。生産地ではミューシレージに含まれる糖分が種に移行して独特の甘味が増すと言われています。コスタリカの一般的なコーヒーは、ミューシレージをとってから仕上げる人が多いです。ブラックハニーという特別な方法で仕上げられたコーヒーをお楽しみください。

コスタリカのコーヒーについて

コスタリカでは自然との調和を大切にした環境に優しい方法でコーヒーが生産されています。品質はもちろんですが、その環境への優しさも世界的に高く評価され、高値で取引されています。

コスタリカにはブルンカ(Brunca)、中央盆地(Central Valley)、グアナカステ(Guanacaste)、オロシ(Orosi)、タラス(Tarrazu)、トレス・リオス(Tres Rios)、西盆地(West Valley)、トゥリアルバ(Turrialba)の8つの生産地域があります。その中でも、高地だけで栽培されるタラスのコーヒーには「酸味が強く上品で、コクがあり特に良い香りがある」という特徴があり、国際的に最も好まれる風味を持っているといわれます。

タラス地区のコーヒーについて

スペイン語で「富める海岸」を意味するコスタリカ(Costa Rica)は、東西を太平洋とカリブ海に囲まれ、国土の中央に山脈が連なる風光明媚な国です。また近年では、豊かな自然を体感するエコツーリズムや、再生可能エネルギーへの取り組み等で注目される環境立国でもあります。

ガンボア農園のあるタラス(Tarrazu)は首都サンホセから約70km南のロスサントスという地域に位置しています。ロスサントスの周辺に19世紀半ばに中央盆地の住民が移住してきた際に、移住者は街San Pablo de Leon Cortes、San Marcos de Tarrazu、Santa Maria de Dotaと聖人の名前を付けました。タラスはSan Marcos de Tarrazuに由来しています。ここは太平洋側に広がる山脈の中で、鳥類や森林の聖地とも言われる美しい自然に囲まれた地域であり、狭い溪谷や山の斜面で丁寧にコーヒーの栽培が行なわれています。また、高地だけで栽培されるタラスのコーヒーは「酸味が強く上品で、コクがあり特に良い香りがある」と言われ、世界中で高く評価されています。